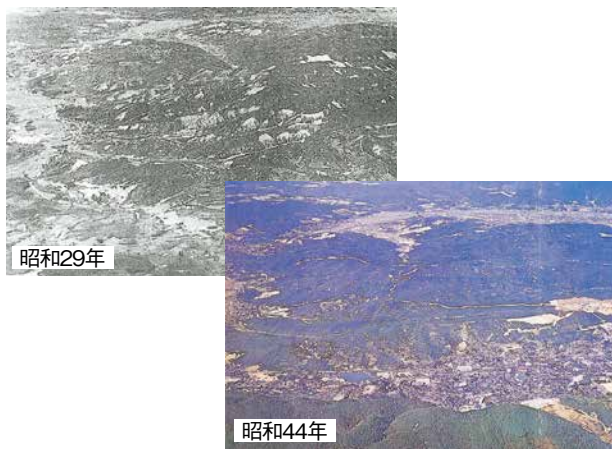
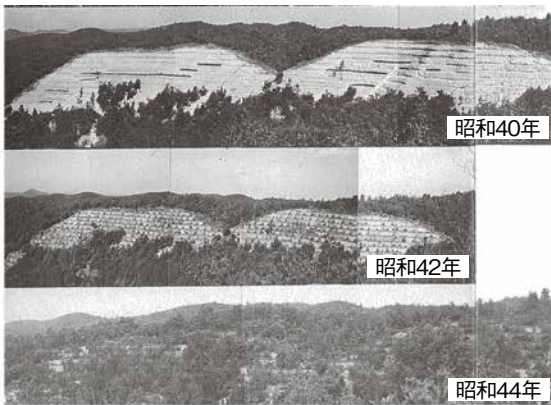


4

土岐地区はげ山復旧治山工事

(昭和7年～昭和45年)【岐阜県 土岐市ほか】



- 所在場所
岐阜県土岐市、瑞浪市、多治見市、旧笠原町
- 施設・工法の概要
溪間工、山腹工（石積工、積苗工、萱筋工藁伏工、張芝水路工、礫暗渠工、編柵工、播種積苗工、丸太積工、緑化工）
- 解説（要約）

昭和7年（1932年）現在の土岐市、瑞浪市の一部を施工区域とし、当時の経済的不況を背景に失業者救済をかねて、農林省山林局の直轄事業として治山工事が始められました。

その後、昭和22年（1947年）4月の林政統一により、そのままのかたちで名古屋営林局の直轄治山事業として引き継がれ、昭和45年（1970年）1月までの間に実行された面積は約1,576ha、投入された労力は約175万人を超えました。

日本三大荒廃地の一つとまで言われた土岐のはげ山が、奇跡的に緑を回復し、現在は豊かな里山風景となっており、一部は「陶史の森」公園として、市民の憩いの森として親しまれています。

その後、模型を使って土砂崩れ、水源涵養・洪水防止機能など森林の働きを学んだのち、木や竹の輪切りなどを使った壁掛け作りや、樹木の種の模型作りを行



模型で説明する首席森林官

各地からのたより

愛知森林管理事務所を 見学しよう

「愛知所」九月二十五日、地域の子供達に国有林の仕事や森林林業を知ってもら

うことを目的に「愛知森林管理事務所を見学しよう」と題し新城市立庭野小学校の二、三年生の児童を対象に初めて見学会を行いました。所長による国有林の概要説明や事務所内の案内を行いました。

い、種が子孫を残すため遠くまで飛んでいく方法などを学びました。酒向首席森林官の分かりやすく楽しい話に児童達も終始笑顔でした。

また、庭野小学校は当所に近く、児童の中には、職員の子供もおり、なかなか見ることのできない、職場で働いているお父さんの姿も見ることができました。

後日、児童達からお礼の感想文が寄せられ、小学校のホームページに当日の様子が掲載されました。

治山研究発表会で 最優秀賞を受賞

「南信署」十月二日に東京都渋谷区で開催された第五十三回治山研究発表会において、当署の澤口主任治山技術官が「特殊な環境（豪雪・強酸性土壌）における緑化方法の模索（馬曲川復旧治山工事）」を発表し、最優秀賞（緑化、環境への配慮、事業実施の工夫等の取組部門）を受賞しました。



最優秀賞を受賞した澤口主任治山技術官

本研究は、澤口技術官の前任地である北信署での植生工に関する調査・研究について発表したものです。

発表会では、全国の治山に関する研究について四十三課題が発表されましたが、審査委員からは対策工法の検討手法や施工後三年間の経過観察、比較対象地の設定などについて高い評価を受けました。



表彰を受ける澤口主任治山技術官

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全し、また、水源の涵養、生活環境の保全等を図る事業であり、現場に今回の研究成果等を活用し、引き続き、より確実な森林への復旧に努めることとされています。



参加者の方々

「森林ボランティア・NPO連携推進会議」開催

「技術普及課」中部局管内で活動する森林ボランティアやNPO団体との交流促進および情報交換や相互研鑽を目的とする「森林ボランティア・NPO連携推進会議」が、十月四日（金）から五日（土）にかけて、塩尻市内で開催されました。平成十七年に始まった本会議は今年で九年目を迎えます。今年は初めて長野県との共催となり、塩尻市の後援を得ての開催となりました。



簡易索道を用いた集材のデモンストレーション

これまでは講演会や、各団体の活動報告会・意見交換会などに重点を置いていましたが、今年は参加団体の見識を広げることが目的に、「薪の利用・普及」をテーマに掲げ、飯田市の薪ストーブユーザーが中心となって林地残材等を有効活用する任意団体「薪人（まきびと）」を講師に招き、塩尻市内の市有林において「簡易索道を用いた集材のデモンストレーション」を見学するプログラムとなりました。玉切りした材が、ワイヤーではなくロープとウインチを用いてゆっくりと牽引される様子に、参加団体の誰もが感心し、熱心に質問したり体験したりと軽量で新しい集材の形に興味津々でした。

また、塩尻市を中心に里山整備を行う「一期会（いちごかい）」によるアカマツ大径木の伐採実演や、翌日のイベントで用いるクラフト用材料の収集などを行い、秋晴れの下充実の初日となりました。

二日目に行われた「森・ふれあいフェスタ」は、台風接近による不安定な天気予報の下、塩尻市の「道の駅 小坂田公園」にて開催されました。開会式には地元塩尻市長よりご挨拶をいただき、続いて塩尻市のゆるキャラ「げんすけ」くんにも登場していただきました。また、長野県緑の基金の協力を得て、初めて参加者へ募金を呼びかけました。



カンナくずで遊ぶ子供たちとげんすけくん

フェスタ恒例の「わら細工（裏木曾古事の森育成協議会）」や「竹とんぼ（N



ツリークライミング

PO 法人やまぼうし自然学校)、「竹笛 (NPO 法人名古屋シテイ・フォレスト 倶楽部)」、「ドバースアート (国土防 災技術株式会社)」などが並ぶ中、今年 のテーマに沿って「薪割り体験 (新人・ 一期会)」のブースも設けました。軽ト ラックのタイヤを積み上げた中に丸太を 入れ、ヨキを使って割っていくのです が、参加した子どもたちや大人でさえも 慣れるまで四苦八苦。スタッフにコツを 聞きながら一生懸命重たいヨキを振り下 ろしていました。

今年さらさら新たな催しとして「ツ リークライミング (ツリークライミング クラブ WITTH)」のデモンストレー ションを開催。今年度のツリークライム 国内大会優勝者である松岡秀治氏を招 き、公園内のケヤキを用いて世界レベル の技術を披露していただきました。ロー プ一本で樹上に上がり、枝から枝へと渡 り歩く姿に、見学者からは歓声があが りました。

悪天候の予報が災いして公園への親子 連れが非常に少なかったことが少し残念 ですが、管内の森林ボランティア・NP O 等十六団体が集まり、にぎやかに情報 や意見を交換して交流を深めた二日間と なりました。

この二日間の反省点は今後活かすこ ととし、次年度はついに第十回目を迎え る「森林ボランティア・NPO 連携推 進会議」を各団体の皆さんと共にさらに 盛り上げていく予定です。

カラマツ新緑写真コンテスト 表彰式を開催

【企画調整課】 九月十八日、長野県庁に おいて、「カラマツ新緑写真コンテスト」 の表彰式を開催しました。

当日の表彰式には最優秀賞受賞者を含 む五名の入賞者と主催者が参加して行わ



入賞者の方々と局長 (右)、林務部長 (左)

れ、冒頭、主催者である長野林政協会 会長の塩入長野県林務部長から、信州カ ラマツの魅力などを交えた挨拶を、続い て入賞者に対し塩入部長から表彰状 (ひ のき製の楯) を贈呈しました。副賞とし て、最優秀賞には漆塗りのサワラ製寿司 桶、優秀賞には木曾ひのき製小判メンパ (弁当箱) と漆塗りひのきマイ箸セット が贈られました。また、鈴木中部森林管 理局長より、応募のあった百八点の作品 の審査方法についての説明と入賞作品を 大勢の方々に見ていただく活用策などを 交えて講評がされました。



入賞者の方々と懇談

その後、林務部長室で行われた懇談会 では、「カラマツの新緑は日々色が変わ るため撮影するタイミングが難しかっ た」、「新緑時期を逃したかと思っただ



「南信署 諏訪南森林事務所」

下城 大作 森林官

諏訪南森林事務所は、長野県茅野市に 所在しており、当森林事務所が管轄する 国有林は、北部の蓼科山から南部の編笠 山の間、標高二千メートル以上の山峰が 連なる八ヶ岳地域の六千六百三ヘクタールと、標高九百二十メートル〜千六百 四十メートルで赤石山脈の最北端に位置 する金沢地域の七百十三ヘクタールから なっています。



赤岳

まず、八ヶ岳地域は冷山、東嶽、青
嶺、鷹巣場、西嶽、編笠山の六つの国有
林からなります。

本州のほぼ中央、長野県と山梨県にま
たがる八ヶ岳は、個性的な山々が連なる
山塊で、夏沢峠を境に主峰の赤岳を中心
に力強い岩峰が連なり、入門者から本格
登山まで多彩な登山ルートが張り巡らさ
れています。

稜線にはお花畑が広がりコマクサなど
の希少な高山植物が可憐な姿を見せてく
れる南八ヶ岳と、原生林が生い茂り、大
小いくつもの神秘的な池が点在し、傾斜
がなだらかで岩場が少なく森が多いため
ハイキングから本格登山まで楽しめる北
八ヶ岳に分かれています。



電気防鹿柵の設置

それぞれに山登りが楽しめる山として
登山者にもたいへん人気があります。

しかしその一方、近年はニホンジカに
よる樹木や高山植物等の被害が深刻な問
題となっており、市町村など関係団体や
各山小屋関係者等と連携して、くくり罠
による捕獲や電気防鹿柵等を設置して高
山植物等を保護する取組を積極的に実施
しています。

次に金沢地域にある金沢山国有林は、
戦国大名の武田信玄が金を採掘した八カ
所ある金山のうちの一つとされ、金沢金
山は、金鉱脈が鶏が羽を広げた姿に似て
いることから「金鶏金山（きんけいさん
さん）」とも呼ばれています。



児童の林業体験

当金沢山国有林は人工林率が九十五
パーセントで、その内の五十パーセント
がカラマツ林となっています。今年度は
立木販売の実施や、毎年春先には「金鶏

グリーンデイ」と称して分収造林地であ
る地元小学校の学校林において森林教室
も行われています。

これまで挙げたこと以外にも収穫調査
や境界巡検、生産・造林事業の監督業務
や安全指導の実施、ふれあいの郷の管理
やレクリエーションの森の整備、定期的
な外部会議など多種多様な業務を担って
います。

今年度より初めての森林官業務に携
わっていますが、突発的な事案も多く
日々の対応に追われています。大変な事
も多くありますが、現場の最前線で働く
者として地域の皆さんとの関わりや繋ぐ
りを大切にしながら業務に携わっていき
たいと思っています。



安全指導をする下城森林官

人のうごき

中部森林管理局人事

十月一日付

▽南信森林管理署首席森林官（駒ヶ根・伊那担当） 経理課経理第一係長 羽場 達夫

▽総務企画部経理課経理第一係長（経理課支出係長） 坂口美智恵

▽総務企画部経理課支出係長（北信署主任森林整備官（森林ふれあい・資源活用担当）） 岡本 守

▽南信森林管理署首席森林官（下諏訪・横川担当） 南信署主任森林整備官（経営・森林ふれあい担当） 飯島 隆男

▽南信森林管理署主任森林整備官（経営・ふれあい担当） 南信署首席森林官（駒ヶ根・伊那担当） 寺澤 茂雄

▽北信森林管理署（長野・戸隠担当区） 南信署 俣野 篤樹

行事・会議等の予定

◎中部森林管理局有志協議会連絡協議会 11月5日 松本市

◎中部ブロック準フォレストアー連携会議 11月6～7日 下呂市他



中橋を渡る屋台 (春の山王祭)

◆高山祭り
高山祭りは、岐阜県高山市で毎年開催される祭りのうち屋台が複数出る祭りの総称で、春の山王祭と秋の八幡祭があります。



北三番叟「童子」から「翁」へ (春の山王祭)

◆春の山王祭
日本の三大美祭の一つにも数えられるこの祭りは、飛騨高山の風物詩であり、その起源は十六世紀後半から十七世紀といわれています。
春の山王祭は、旧高山城下町の南半分の氏神様として崇められる日枝神社(山

◆秋の八幡祭
秋の八幡祭は、旧高山城下町の北半分の氏神様として崇められる桜山八幡宮の例祭で、毎年十月九日・十日、安川通り



布袋台カラクリ奉納 (秋の八幡祭)

王様)の例祭で、毎年四月十四日・十五日、うらかな春の訪れとともに安川通り(国道一五八号線)南側の上町を舞台に繰り広げられます。
祭りの華は、なんとと言っても絢爛豪華な屋台で、山王祭の屋台組が誇る十二台の屋台が曳き揃えられた様は、「動く陽明門」ともいわれています。また、三台の屋台で行われるからくり奉納、伝統衣装をまとって古い町並を歩く御巡幸、提灯を灯した屋台が祭囃子を奏でながら町を一巡する夜祭など、悠久の歴史を感じさせる祭絵巻が人々の心を魅了します。

◆アクセス
〔名古屋方面から〕
名古屋から高山までは、JR高山本線で約二時間二十分、高速バスで約二時間四十分です。
〔東京方面から〕
新宿から高山までは高速バスで約五時間三十分、JR松本駅からは約二時間二十分です。



屋台曳き揃え (秋の八幡祭)

北側の下町を舞台に繰り広げられます。祭りの目玉は十一台の屋台による威風堂々たる曳き廻し。曳き揃えの様子です。まるで江戸時代の高山へ迷い込んだような華やかさです。また、古式ゆかしい御巡幸、からくり奉納、幻想的な宵祭りなどの伝統行事も披露され、時を忘れる感動につつまれます。